

先週クリスマスを行い、今日は、2025年最後の日曜日を迎えました。楽しいこと、嬉しいことが多くあった人は、一年を喜ぶことができるかと思いますが、病気をしたり、苦しいことが続いた人がいたならば、思い返したくない一年と言えるでしょうし、また今も苦しみにある人がいれば、解決して、良い年を迎えていたいと思っています。

しかし皆さんに改めてお覚え頂きたいことは、いつでもイエスさまが私たちと一緒にいてくださり、神さまが私たちを見守っていてくださいます。そして神さまは私たちに必要なものをご存じで、満たしてくださるお方です。

だからこそ、神さまは、「隣人を自分のように愛しなさい」とお語りになり、困っている人がいれば助けるようにということが求められています。

聖書の言葉をお読みします。1テサロニケ5:12～18です。

兄弟たち、あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主に結ばれた者として導き戒めている人々を重んじ、また、そのように働いてくれるのであるから、愛をもって心から尊敬しなさい。互いに平和に過ごしなさい。兄弟たち、あなたがたに勧めます。怠けている者たちを戒めなさい。気落ちしている者たちを励ましなさい。弱い者たちを助けなさい。すべての人に対して忍耐強く接しなさい。だれも、悪をもって悪に報いることのないように気をつけなさい。お互いの間でも、すべての人に対しても、いつも善を行うよう努めなさい。

その上で、このように語られます。

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

苦しいときに喜ぶことはできないかもしれません。しかし祈ることができます。祈りが聴かれれば神さまに感謝することができます。神さまに感謝することができれば、神さまを信じていることに喜びが生じます。

また、苦しんでいる人、困っている人を助けることにより、感謝されます。そうすると、自分も喜しくなりますよね。共に喜ぶことができますよね。一人で喜んでいるよりも、みんなで一緒に喜ぶことの方が楽しいじゃないですか。それでも足らなければ、神さまにお祈りして、みんなが満たされるようにお祈りするのです。

このように、自分一人、家族だけではなく、周りの人たちと一緒に喜ぶことができるとき、神さまも喜んでくださるのではないでしょうか。

今年一年のことを、神さまに感謝して、また新しい年2026年も、皆さんが神さまの恵みに満たされ、喜んで生きができるように願って、お祈りしています。そして苦しんでいる人に対しても、互いに助け合い、お祈りして頂きたいと思います。

お祈りします。

今年一年をありがとうございました。嬉しいこと、楽しいことをありがとうございます。苦しいことがあった人には、神さまの助けが与えられますように、お導きください。

そして来年も、私たちが神さまを信じて、喜びと祈りと感謝を続けることができるようにお導きください。このお祈り、イエスさまのお名前によりお祈りします。アーメン